

「<資産運用コンサルティングのポイント Vol12 ～分散投資として投資信託はどれほど効果的 か?>」



株式会社 ZUU の富田和成です。今回は銀行や証券会社を中心に販売が盛んな投資信託についてみていきたいと思います。

■投資信託とは何か？

投資信託は、投資家から集めた資金をひとつの大きな資金としてプールし、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する。その運用成果が投資家それぞれの投資額に応じて分配される仕組みの金融商品です。投資家から集めた資金をどこに投資するかは、運用会社の専門家が投資信託の運用方針に基づいて選定しています。

投資信託の運用成績は市場環境などによって変動するため、投資信託の購入後に運用が上手くいけば利益を得るが、運用が失敗することで投資額を下回り損をすることもあります。投資信託の運用損益は、投資額に応じてすべて投資家に帰属することになります。

投資信託は、おもに3つの会社に関係しています。

1. 販売会社：証券会社など投資信託を実際に売買する会社です。
2. 運用会社：ファンドマネージャーと呼ばれる運用担当者が、調査に基づき運用の指示を出します。
3. 信託会社：投資家から集まる資金を分別管理し、運用会社の指示に従い、株や債権の売買の処理を行います。

このような仕組みで運営されることによりバランスが働き、運用会社が倒産した場合でも投資家の資金は保護されます。ただし、投資信託は元本が完全に保証される金融商品ではなく、銀行預金などとは異なるものであるという理解が必要となります。

■投資信託のメリットとは？

投資信託には大きく4つのメリットがあります。

まずはじめに、初期投資を少額からスタートできる金融商品であることです。通常、株式や債券の投資にはある程度の資金が必要となるが、投資信託は1万円程度からスタートできます。

次に、株式や債券への分散投資が可能ということ。個人投資家が自分で分散投資をするには多くの資金が必要となります。投資信託は小口の資金を集約して運用するため、さまざまな資産に分散投資しリスクを軽減することができます。

3つ目は、専門家により運用されるということです。投資信託はプロの専門家が投資家に代わって運用を行うため、より効率的な運用が可能となります。また一般の投資家が買いにくい海外株式や債券、特殊な金融商品への投資も可能となります。

4つ目は、透明性が高いということです。原則として取引価格である基準価額が公表されており、現状の資産価値や値動きがわかりやすい金融商品といえます。さらに決算毎に監査法人による監査を受けるため、適切かつ透明性の高い運用がなされているといえるでしょう。

■投資信託のデメリットは？

投資信託は投資ビギナーにも手をつけやすく、リスクも低い金融商品だが、反面デメリットもあります。

ひとつは、コストが余分にかかることです。販売会社や運用会社、信託銀行へ支払う販売手数料や信託報酬は、専門家へ運用委託するためのコストという位置づけになる。これらのコストは販売会社や運用会社によりさまざまだが、一方で販売手数料がかからない「ノーロード」ファンドも一部登場しているので調べて見るとよいでしょう。

次に、運用成績が落ちるものがあるということです。これはアクティブファンドについてのリスクとなりますが、アクティブ（積極投資）と謳いながら、ほぼ東証などのインデックス指数と変わらないパフォーマンスの銘柄もあり、その場合は上記の手数料分のコストが損といえるでしょう。

投資信託は値動きのある株式や債券などに投資するため、基準価額は株式市場などの動向により変動し、元本保証はされません。

ここまで見てきたように、投資信託は一般的にコストが高い一方で効率的な分散投資にもなるため、コストをよく見ながら選定することが重要となってくる。顧問先が金融機関から投資信託を提案されている際は、その部分に注意して見るようにアドバイスをして頂ければいいのではないのでしょうか。

以上、今回は投資信託について触れましたが、資産運用の情報提供を通じて顧問先との信頼関係構築に繋がれば幸いです。

このような顧問先向けの情報提供や資産運用のアドバイスに役立つ情報配信やQ&Aを「日税FPフォーラム」で行っています。ご興味頂ける方は下記を御覧ください。

<日税FPフォーラム>

税理士向け・新サービス提供開始。今後益々ニーズが増えると予想される税理士・会計事務所の資産運用コンサルティングを総合的にバックアップする《日税FPフォーラム》の提供を開始しました。詳しくは下記ページをご参照ください。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

http://zuu.co.jp/company/ceo_message

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors Support： <http://support.zuuadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488